

教科目名 地域日本文学 (Regional Japanese Literature)

学科名・学年 : 全学科 4年 (教育プログラム 第1学年 ◎科目)

単位数など : 必修 1単位 (前期1コマ, 授業時間 23.25時間)

担当教員 : 山田繁伸

授業の概要			
大分県を舞台にした文学作品を読解・鑑賞する。主に、短歌・俳句・随筆・小説を読んでいく。適切な教科書がないので、作品はすべて板書もしくはプリントで提示する。板書筆写用のプリントを配布するので、ノートの準備は不要である。ただし、プリントを綴じるファイルは必ず各自で準備しておくこと。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(C1), JABEE 目標(f)	
(1) 風土とかかわりの深い詩・短歌・俳句を読み味い、鑑賞力を養うことができる。(定期試験)			
(2) 詩・短歌・俳句を解釈・鑑賞し、その内容を適切な長さの文章にまとめることができる(定期試験)			
(3) 豊かな地域の風土を背景にして描かれた作品を正しく読み解くことができる。(定期試験)			
(4) 読み解いた作品の世界を第三者に分かりやすく説明することができる。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	県北地区の詩歌	○詩・短歌・俳句を正しく解釈・鑑賞できる。 ○詩歌の表現の豊かさを実感できる。 ○表現の背後に隠されていることを調べたり想像したりしながら、正しく読解できる。	【理解の度合い】
2	国東地区の詩歌		
3	別府地区の詩歌		
4	大分地区の詩歌		
5	県南地区の詩歌		
6	豊肥地区の詩歌		
7	久大地区の詩歌		
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説 「耶馬溪に遊ぶ」	○風土の描き方の優れた点を理解できる。 ○大分の風土のすばらしさを味わい、自然観について考えることができる。 ○大分を舞台にした優れた小説・随筆・紀行文を読み、その感動を自らの表現で第三者に伝えることができる。	【理解の度合い】
10	川端康成「波千鳥」		
11	国木田独歩「源叔父」		
12	松下竜一「紫に拠る」		
13	瀬戸内晴美「ここ過ぎて」		
14	高杉良「生命燃ゆ」		
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
履修上の注意		プリントを綴じる A4 版のファイルを各自で準備し、配布されたプリントは必ずファイルに綴じておくこと。	【総合達成度】
教科書		授業中に配布するプリント	
参考図書		山田繁伸、「おおいたの歌碑を歩く」、大分合同新聞社。	
自学上の注意		大分県立社会教育総合センター、および、とよのまなびコンソーシアムの「インターネット講座」の視聴を勧める。	
関連科目		現代文、日本語表現法、卒業研究	
総合評価		2回の定期試験の平均点で総合評価する。総合評価が60点以上を合格とする。再試験は、総合評価が60点に満たない者に対して実施する。受験資格は、配布プリントを綴じている者に与える。	